

## 主の晩餐式 趣旨説明文

主の晩餐という儀式の第一の趣旨は、イエス・キリストの十字架刑死と復活を記念することにあります。パンは十字架で割かれたからだを象徴し、葡萄酒は十字架で流された血を象徴します。よみがえらされたキリストは十字架の傷を負ったままの姿でした。わたしたちはキリストの十字架と復活を、神が一方的になされた無条件の救いの出来事として信じています。神の愛をいつまでも記念するためにわたしたちは晩餐を行います。

第二の趣旨は、イエス・キリストが行なった食卓を再現し追体験することにあります。キリストはさまざまな差別に直面していた人々と率先して食事を共にし、子どもを含め飢えている者たちが満腹できるほどの食事を無条件に与えられました。最後の晩は自分を裏切り否定する弟子たちと食卓を囲まれ、復活された後にその弟子たちとの和解と弟子たちの派遣を意味する食卓を設けてくださいました。わたしたちはすべての主の食卓の模倣として晩餐を行います。それは明日からの自らの生き方を他者のための生へと方向づけます。

第三の趣旨は、世の終りの「神の国の祝宴」を先取りすることにあります。世の終わりには、キリストが再び来られ世界の不正義が正され、今不条理の苦しみに遭っている人の名誉が回復され涙が拭われます。その時アブラハム・サラ・ハガルなど族長たちと共に祝宴に参列できるという約束はわたしたちの希望です。その喜びの祝宴を先取りし、絶望の世にあって希望を確かにするために、わたしたちは晩餐を行います。

第四の趣旨は、収穫を喜び、すべてのいのちの創り主である神に感謝をすることにあります。キリストは常に食事の際に、与えられた食物について創造主に感謝を捧げました。わたしたちも日々の食事で感謝を捧げております。特に、1945年以来始まっている地球総被ばくの状況にあって、他のいのちを食べることにより自らのいのちを保つことの意味が問われています。わたしたちはいのちの主を畏敬するために晩餐を行います。

ただいま申し上げた趣旨に賛同される方、イエスを救い主と信じる方、キリストに倣う生き方を決意される方、食卓に連なることに感謝している方は、これから配られるパンとぶどう酒をどうぞご自由にお取りください。儀式の意味が分からない方、無条件の愛を信じていない方、お取りになりたくない方はどうぞそのままにしてください。すべての人には信じる自由および信じない自由が保証されています。また隣人の良心に基づく判断の当否を問う資格は誰にもありません。